

令和3年度

運営に関する計画・自己評価(最終評価)



令和4年3月

大阪市立塩草立葉小学校

大阪市立塩草立葉小学校 令和3年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

数値は、平成28年度⇒平成29年度⇒平成30年度⇒令和元年度⇒令和2年度⇒**令和3年度****現状と課題**

本校は、学校教育目標「豊かな心をもち、自ら考え、正しく判断できる子どもを育てる」のもと、人権尊重を基盤とした教育活動を推進している。子どもが健やかに成長し、心豊かに生きるため、学力や体力とともに、基本的な生活習慣、自尊感情などをトータルに育むよう、全教育活動を通して取り組んでいる。保護者や児童アンケート等では、教育活動に対して肯定的な回答がほとんどで、取り組みの成果があらわれている。今後も、家庭及び地域と連携して安全な社会の実現と学力・体力の向上に努めていく。

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

＜全国学力・学習状況調査（6年）＞ 令和2年度は中止

○「自分には、よいところがあると思いますか」の項目で、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合 **74%⇒67%⇒84%⇒69%⇒中止⇒85%**

＜大阪市小学校学力経年調査（3年以上）＞ 12月に実施

○「自分には、よいところがあると思いますか」の項目で、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答える児童の割合 **73%⇒76%⇒81%⇒83%⇒70%⇒71%**

○「朝食は毎日食べますか」の項目で、「あまりしていない」「まったくしていない」と答える児童の割合 **22%⇒20%⇒10%⇒10%⇒12%⇒10%**

○「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の項目で、「あまりしていない」「まったくしていない」と答える児童の割合 **24%⇒22%⇒21%⇒23%⇒27%⇒設問なし**

○「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」の項目で、「あまりしていない」「まったくしていない」と答える児童の割合 **14%⇒13%⇒14%⇒10%⇒16%⇒設問なし**

○「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目で、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答える児童の割合 **93%⇒93%⇒93%⇒95%⇒93%⇒89%**

＜保護者アンケート（全学年）より＞ 1月に実施

○「学校は、人権を大切にする教育に努めている」の項目で、「当てはまる」「やや当てはまる」と答える保護者の割合 **85%⇒89%⇒86%⇒88%⇒93%⇒93%**

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力の向上】

＜全国学力・学習状況調査（6年生）の平均正答率＞

○全国平均を100とした時の本校平均正答率

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
国語A	90.4	96.3	91.9	87.8	中止	94.3
国語B	96.2	97.4	82.3			
算数A	107.5	103.1	107.1	94.6		94.0
算数B	96.2	98.0	104.9			
理科	なし	なし	91.2	なし		なし

数値は、平成28年度⇒平成29年度⇒平成30年度⇒令和元年度⇒令和2年度⇒**令和3年度**

＜大阪市小学校学力経年調査より＞ 12月に実施

- 「学校の授業時間以外に、ふだん1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の項目で、「30分より少ない」「まったくしない」と答える児童の割合

16%⇒13%⇒16%⇒15%⇒21%⇒**26%**

- 全体の標準化得点

104.0⇒104.0⇒100.5⇒101.0⇒98.8⇒**99.5**

- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目で、肯定的に答える児童の割合

76%⇒82%⇒80%⇒80%⇒66%⇒**69%**

＜その他＞

- 近年、渡日などで編入（転入）する外国人児童が急増しており、日本語指導が必要である。生活言語はもとより、学習言語に支障が生じることが多く、継続的な支援が課題である。 ※日本語指導を要する児童 7人⇒12人⇒10人⇒11人⇒11人⇒**13人**

※母語：中国、韓国・朝鮮、タガログ、インドネシア、ウクライナ

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための体力の向上】

＜全国体力・運動能力、運動習慣等調査より＞ 5年生 今年度は中止

- 大阪市平均を上回った種目数

男・女 1・4⇒7・4⇒1・5⇒2・3⇒中止⇒**0・0**

- 「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的に答える児童の割合

77.5%⇒76%⇒94%⇒86%⇒中止⇒**79%（男90%、女68%）**

＜令和2年度より新校舎を使用＞

- 運動場の狭隘化により、日常的、計画的な体力づくりが必要である。

中期目標（平成29年度から令和3年度までの5年間で達成をめざす成果目標）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 令和3年度の大阪市小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目で、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を平成28年度（73%）より向上させる。 73%⇒76%⇒81%⇒83%⇒70%⇒**71%**

- 令和3年度末の保護者アンケートにおける「学校は、学年に応じて、子どもに人権を大切にする意識を育てようとしている」の項目で、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合を平成28年度（85%）より向上させる。

85%⇒89%⇒86%⇒88%⇒93%⇒**93%**

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 令和3年度の大阪市小学校学力経年調査の質問紙調査で、「学校の授業時間以外に、ふだん1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の項目で、「30分より少ない」「まったくしない」と答える児童の割合を平成28年度（16%）より減少させる。

16%⇒13%⇒16%⇒15%⇒21%⇒**26%**

- 令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的に答える児童の割合を平成28年度（77.5%）より向上させる。

77.5%⇒76%⇒94%⇒86%⇒中止⇒**79%（男90%、女68%）**

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小学校）（市教委が設定） **数値は、令和元年度末⇒令和2年度末⇒令和3年度末**

○年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて解消した割合を95%以上にする。 **100%⇒100%⇒100%**

○大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。

95%⇒93%⇒89%

○年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。

前年度と同数⇒前年度より減少⇒前年度より減少

○年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

前年度より減少⇒前年度と同じ⇒前年度と同じ

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小学校） ※令和2年度と3年度の大阪市小学校学力経年調査結果比較

○大阪市小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。

4年 +0.3ポイント。5年 +3.4ポイント。6年 +1.6ポイント

○大阪市小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。

4年 -9.0ポイント。5年 +4.4ポイント。6年 -5.2ポイント

○大阪市小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント以上増加させる。

4年 +11.4ポイント。5年 -3.4ポイント。6年 ±0ポイント

○大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。

80%⇒66.9%⇒69%

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的に答える児童の割合を、前年度までより増加させる。 **86%⇒中止⇒79%**

3 本年度の自己評価結果の総括

新型コロナウイルス感染症拡大により、教育活動に制約を受け、先行きが見通せない1年であったが、教職員が一丸となって子どもたちを育ててきた。全国学力・学習状況調査や全国体力・運動能力、運動習慣等調査、大阪市小学校学力経年調査、児童アンケート、保護者アンケートなどから、一定の成果をあげていることが明らかになった。

また、目標別シートにおけるさまざまな取組内容からも、今年度の教育活動は、計画的かつ柔軟にすすめることができた。感染状況の収束の見通しがつきにくい状況ではあるが、引き続き、本校児童の実態を把握しながら、教育活動を推進したい。

(様式2)

大阪市立塩草立葉小学校 令和3年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】 全市共通目標(小学校) ※今年度の結果は、3ページを参照 ○年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 ○大阪市小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。 ○年度末の校内調査において暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。 ○年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 ○いじめの未然防止と早期発見、早期対応をすすめる。 ----- 指標 ・年1回以上、「学校いじめ防止基本方針」を見直す。 ・「5/10 いじめについて考える日」に、全学級でいじめ防止に取り組む。 ・学期に1回以上、全学級でいじめについて実態調査を行い、早期発見に努める。 ・月1回以上、全教職員で児童の実態について共通理解する。 ・年1回以上、「学校安心ルール」を見直し、活用する。月1回スクリーニング会議 ・区役所(こどもサポートネット、子育て支援室、要保護児童対策地域協議会等)、こども相談センター、SC、SSW、民生委員・児童委員等と連携する。 ・全学級で、スマホ・ケータイ等の情報モラル教育を行う。学期1回連絡会 ・キャリアパスポート、スクリーニングシートを活用する。KDDI、LINE 授業	B
取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】 ○人権尊重の教育を基盤とした教育活動を推進する。 指標 ・全教員が年2回以上校外で行われる人権研修会に参加する。(オンライン含む) ・人権教育実施計画(別紙参照)に基づいて、日常的、計画的に取り組む。 ⇒人権にかかわる体験的な活動に取り組む。(盲導犬、車いす、アイマスクなど) 3年 盲導犬学習 10/27、4年 車いす体験 1/24、5年 アイマスク体験 2/9 ⇒全学級で、多様性教育【性教育(性の多様性含む)、外国人教育(多文化共生、国際理解含む)、特別支援教育(障がい理解、支援学校連携含む)、部落問題学習】に取り組む。 難波中学校区の学校園と連携した「多様な性についての学習」	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①

- ・「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期対応のため、「いじめについて考える日」に全校及び各学年・学級で啓発の取り組みを行った。
- ・学期に1回いじめの実態調査を行った。
- ・児童虐待防止の授業について取り組んだ。
- ・児童の実態の共通理解を共有の場を作り、毎月行った。
- ・SKIP 上にも継続して児童の実態の共通理解をする場をつくり、記録してきた。
- ・関係諸機関とも連携し、様々な業種・職種のチームを作り、課題のある児童に関わってきた。
- ・全学級で、スマホ・ケータイ等の情報モラル教育を行った。
(1・2・3年 KDDI 教材) (4・5・6年 LINE オンライン出前授業)
- ・キャリアパスポート、スクリーニングシートの活用に取り組んだ。

取組内容②

- ・人権教育実施計画に元づいて、人権尊重の教育を基盤とした教育活動(集団育成、平和教育、特別支援教育、同和教育、情報モラル教育、外国人教育、LGBT、性教育など)を推進してきた。
- ・コロナ禍の影響で、校外で行われる人権教育研修会が開催されていないものがあり、オンライン研修として受講した。また、校内で人権教育研修会の場を設けた。

次年度に向けての改善点

- ・コロナ禍における感染防止策を実施し、人権教育を引き続き行う。
- ・個別の支援が必要な児童への関わり方について、研修を進め、さらに理解を深める。
- ・今後も、児童の実態の理解を月に1回以上行う。職員会議後や臨時に児童の共有の場を使って、全体で伝え合う。更に、SKIP の会議室を使って引き続き、気になる子どもの情報を記録し共有していく。
- ・登校しにくい児童が年々増加している。家庭の実態把握を関係諸機関と連携し行い、対応を今後も進める。
- ・学校のきまり、規則について、今の子どもの実態に合っているかを見直し、児童・教職員で共有をして、認識を統一する。
- ・学校からの連絡が伝わっていない家庭への対応を考え、繋がりをつくる。(懇談会や、家庭訪問を希望しない家庭へのアプローチ・子どもの姿や頑張っていることを伝える方法)
- ・学年・学級の問題に対して、協力して解決にあたる教職員の連携を今後も強化していく。
- ・学校課題を共通理解し、よりニーズに合った研修を受けられるようにしていく。

(様式2)

大阪市立塩草立葉小学校 令和3年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】 全市共通目標(小学校) ※今年度の結果は、3ページを参照 ○大阪市小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 ○大阪市小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。 ○大阪市小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。 ○大阪市小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度(66%)より増加させる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ○すべての子どもに学習習慣を定着させる。 指標 ・全学級で、週1回「朝の学習」を実施する。(読書、読み聞かせを含む) ・授業以外の学習機会を毎日設ける。(朝の学習、休み時間、放課後、英語モジュール、区役所の放課後まなび支援事業等) ・6年で、漢字検定を実施する。(目標: 合格率8割以上) ⇒ 合格率5割	B
取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ○教員の指導力向上をすすめる。 指標 ・全教員が年1回以上公開授業を行う。 ・全教員が年2回以上校外で行われる研修会に参加する。(オンライン含む)	B
取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ○渡日等の子どもへ必要な支援を行う。 ⇒外国人児童は、令和3年4月1日現在で34人。 令和4年2月17日現在で、34人。全児童の約8%。 多い順に中国22、韓国・朝鮮5、フィリピン2、モンゴル2、インドネシア2、インド1 指標 ・必要な子どもに、日本語指導協力者派遣事業やセンター校通級指導、JSLカリキュラム指導員、浪速区日本語サポーターを活用する。 ・子ども一人ひとりの状況に合わせた課題を用意する。	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

①多くの子どもに学習習慣を定着させようとする取組を行うことができた。

- ・児童集会がなかったこともあり、朝の時間を多く学習に充てることができた。
- ・朝の学習では、各学年の実態に応じて、読解や漢字、言葉の学習など国語科に関わる課題に取り組むことができた。また、全学年でブックトラックを活用し、読書環境を整え、読書に取り組むことができた。
- ・授業と朝の学習以外では、毎日の課題、放課後の個別指導や区役所まなび支援事業の活用、毎週火曜日と木曜日には全学年で英語モジュールに取り組むなど学びの機会を多く設けることができた。
- ・6年生は漢字検定を受検した。

②教員の指導力向上を進める取組を、可能な範囲で進めることができた。

- ・研究教科である国語科では全学年で研究授業を行い、研究討議会では学びを深めることができた。
- ・ほとんどの教員が公開授業を行い、指導力向上に努めることができた。
- ・学力向上推進指導員（吉川先生）に国語科の授業づくりについて指導を受けた。また、国語科における本校の経年調査結果を踏まえた研修も行った。
- ・理科、家庭科、体育科、カリキュラムマネジメントのメンター研修を行った。

③渡日等の子どもには、学力向上のために様々な支援を行うことができた。

- ・校内では、同担が5名に日本語指導を行った。一人一人の状況に合わせた課題を用意し、取り組むことで、子どもたちは日本語の習得に努めることができた。
- ・各学級では、一人一人の状況にあった課題を用意し、ルビを振ったり、通訳機を活用したりして支援を行うことができた。
- ・6年生児童は大国小学校で日本語指導を受け、日本語の習得に努めることができた。

⇒2月21日現在の活用状況 日本語指導協力者派遣事業 5人、JSLカリキュラム指導員2人

日本語指導センター校通級指導 2人、浪速区日本語サポーター268時間

次年度に向けての改善点

- ①今年度行うことができた朝の学習や放課後の個別指導、区役所まなび支援事業の活用を今後も続け、多くの子どもに学習習慣を定着できるようにする。
- ②今年度はほとんどの教員が研究授業、公開授業を行うことができた。次年度も引き続き取組みを続け、指導力向上に努める。また、教育センター主催の研修だけに頼るのではなく、外部講師や本校の教員による研修を行い、研鑽を深めるようにする。
- ③今年度行うことができた支援（校内での日本語指導、個別課題、各学級での取組みなど）を続けながら、学力向上のためのよりよい支援や方法について情報を集める。

(様式2)

大阪市立塩草立葉小学校 令和3年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した C:取り組んだが目標を達成できなかった	B:目標どおりに達成した D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
------	--------------------------------------	--

年度目標	達成 状況
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】 全市共通目標(小学校) ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目で、肯定的に答える児童の割合を前年度までより増加させる。 86%(令和元年度)⇒中止(令和2年度)⇒79%(男90%、女68%:令和3年度)	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 ○子どもの体力・運動能力向上のための取り組みをすすめる。 ----- 指標 【新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら、子どもの運動意欲を高める】 ○「子どもの体力向上推進事業(シナプソロジー)」の取り組みを校内で共有して、 <u>体育学習などで活用する。</u> ○ <u>姿勢について意識する取り組みを行う。(放送など)</u> ○ <u>外部講師による特別授業を行う。 (「夢・授業」や出前授業など)</u> 6年卓球 11/10、4年フットサル 12/16	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
・ シナプソロジーを2年生で取り組むことができた。子どもたちの反応も良い。テキストや、取り組みの状況については会議で教員に伝えることができた。 ・ 毎週月曜日に健康委員会の児童が、姿勢を意識できるようにアナウンスを継続しておこなった。放送が流れると、各教室の児童が意識して姿勢を整える様子が見られた。 ・ 本年度は、4年生でフットサル、6年生で卓球の外部講師による授業を実施した。子どもたちは、楽しみながらスポーツに親しむ様子が見られた。
次年度に向けての改善点
・ シナプソロジーの取り組みの様子が校内で共有できるように、授業の様子を撮影し、各学年でも参考にして取り組めるようにする。 ・ 週に1度の放送が、良い姿勢を意識して整える機会となっているため、校内放送などを用いたアナウンスを次年度も続けていく。 ・ 外部講師による特別授業を全学年で実施できるとよい。 ・ なわとび台を設置するなどして、子どもたちが進んで運動ができるように工夫する。

2021（令和3）年度 人権教育の取り組み（予定）

「ともに学び、ともに生きる子どもを育てる」～自分も人も大切にする～

塩草立葉小学校 人権教育部

【1】人権教育推進体制の組織

- 人権教育部（校務分掌）
- 人権教育推進委員会（学校長、教頭、同和教育主担、教務主任、生活指導部長、外国人教育主担、特別支援教育主任、各学年）
 - ・人権教育教材集・資料、人権教育読本「にんげん」の実践、授業研究
 - ・人権・同和教育の推進
- 浪速人権・同和教育推進協議会（同推協）
 - ・学習部会（教育内容部会、歴史部会、保幼小中支援連携部会）
 - ・新転任同和問題研修会（年4回）

【2】人権教育の内容

- 集団育成に関する事項
 - ・学年・異学年間の学年での集団育成活動
 - ・たてわり活動→ペア学年（児童集会、ゲームフェスタ、進級・卒業お祝い）
 - ・保、幼、小、中との交流活動
 - 幼稚園・保育所との交流（昔遊び1年生、1～2月）
 - 難波中、栄小交流（6年生）体育大会、部活動体験、なにわ子ども人権文化祭
 - ・地区子ども会（集団登校・下校）
 - ・フレンズ・カップ・オブ・ナニワ（R3年度は、中止）
 - バレーボール、ドッジボール（3～6年生の希望者）
 - チーム編成から当日まで8～9回程度、放課後に練習する。
- 部落問題学習に関する事項
 - ・太鼓正の見学、「塩草立葉のリズム」練習 4年生（11～12月）
- 特別支援教育に関する事項
 - ・府立難波支援学校との交流 →なんば祭（学芸会） 5年生、作品展 2・4年生
 - ・障がい理解への取り組み（ゲストティーチャーを招いて）
 - 盲導犬学習 3年生、車いす体験 4年生、アイマスク体験 5年生など
 - ・特別支援学級児童の学力保障
 - ・特別支援学級以外の配慮を要する児童への支援
 - ・地域の高齢者との交流活動 →昔遊び交流 1年生
- 外国人教育、国際理解、多文化共生に関する事項
 - ・となりの国の学習（民族講師を招いての学習） 全学年
 - ・多文化理解への取り組み
 - ・国際クラブ（学期1回）外国につながるのある児童に声かけ
 - ・中央ブロック子ども民族交流会（7月）
 - ・中国語弁論大会（10月）

- ・ 渡日児童への日本語指導ならびに支援

(センター校通級、市教委から指導協力員の派遣、必要に応じて個別指導)

○平和教育に関する事項

- ・ 人権・平和学習強調月間 6月第1週～7月第1週 全学年
- ・ 人権・平和の集い 7月6日(火) 全学年

○性教育に関する事項

- ・ 性教育年間計画に基づいた学習実施

○学力保障の取り組みについて

- ・ 子どもの実態に応じた複数教員によるきめ細かい指導
- ・ 1～6年生の朝学習(英語モジュール学習)

○人権ポスター(平和 5年)

- ・ 浪速区で人権展開催の場合は、全学年

【3】人権研修・地域連携

○人権・同和教育の研究・研修

○各学級もしくは学年による人権教育実践報告会(各学年部会→全体会)

○「子どもの様子」報告 毎月職員会議後

○特別支援教育全体会(年2回)

○外国にルーツをもつ児童の実態把握(その都度内容更新)

○大阪市人権教育研究協議会(市人教)の活動参加

- ・ 市人教大会・分科会報告 6月25日(金)・26日(土)
→本校から毎年実践報告を発表(1事例)
→他校の取り組みに学ぶ

- ・ 市人教夏期研究会 7月28日(水) 住吉小学校

- ・ 4区合同人権教育講演会 6月16日(水)

- ・ 浪速区人権教育公開授業 12月

- ・ 浪速区人権教育実践交流会 1月19日(水)

○浪速人権・同和教育推進協議会(同推協)

- ・ 各専門部会の研修会、新転任同和問題研修会

○浪速読み書き教室のボランティア講師 毎週金曜日 午後7時～9時

○フレンズ・カップ・オブ・ナニワ R3年度は、中止

○第52回部落解放・人権教育夏期講座:高野山 録画配信 8月20日～9月3日

○全国人権・同和教育研究大会 11月13日、14日 新潟県上越市・妙高市

○浪速地区人権・同和教育研究集会(隔年) R3年度実施 R4年1月

○なにわ人権教育ネットワーク(人権ネット)の活動参加

- ・ 講演会「区民の夕べ」 8月

○4区(浪速・西・港・大正)合同人権展 12月 2021年度は、浪速区予定

- ・ 児童の作品展示(ポスター・標語など)

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、オンライン開催や延期、縮小、中止になる場合があります。